



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7707 URL <https://www.pss.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 悠
問合せ先責任者(役職名) コーポレート本部 本部長 (氏名) 小澤 寿仁 (TEL) 047-303-4800 (代表)
定時株主総会開催予定日 2026年9月25日 配当支払開始予定日 2026年9月28日
有価証券報告書提出予定日 2026年9月18日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期の連結業績(2025年7月1日~2026年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	5,216	11.2	201	—	155	—	394	—
2025年6月期	4,692	17.9	△121	—	△139	—	△253	—

(注) 包括利益 2026年6月期 331百万円(—%) 2025年6月期 △281百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	14.42	—	10.1	2.9	3.9
2025年6月期	△9.21	—	△6.4	△2.5	△2.6

(参考) 持分法投資損益 2026年6月期 △41百万円 2025年6月期 △5百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	5,853	4,090	69.9	148.94
2025年6月期	4,937	3,760	76.2	138.31

(参考) 自己資本 2026年6月期 4,090百万円 2025年6月期 3,760百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	51	△98	460	1,365
2025年6月期	95	△8	△910	1,036

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00	54	13.9	1.4
2027年6月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00		28.1	

3. 2027年6月期の連結業績予想(2026年7月1日~2027年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	5,650	8.3	350	73.9	298	91.3	292	△26.0

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) 一、除外 2社(社名) エヌピーエス株式会社
PrecisionSystemScience USA, Inc.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年6月期	27,666,900株	2025年6月期	27,666,900株
2026年6月期	206,170株	2025年6月期	476,128株
2026年6月期	27,375,699株	2025年6月期	27,491,345株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年6月期の個別業績(2025年7月1日～2026年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	5,170	14.6	217	—	206	—	609	—
2025年6月期	4,510	19.5	△122	—	△84	—	△187	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期	22.25	—
2025年6月期	△6.81	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	5,900	4,002	67.8	145.74
2025年6月期	4,837	3,380	69.9	124.32

(参考) 自己資本 2026年6月期 4,002百万円 2025年6月期 3,380百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(連結範囲及び持分法適用の重要な変更に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、各国のインフレが鈍化しAI関連投資の拡大を背景に底堅く推移しましたが、米国を中心とした保護主義的な通商政策による貿易摩擦の長期化、混乱に加え、中東情勢の緊迫化による原油価格高騰や原油由来製品の供給不安等、先行き不透明な状況が続きました。

当社が事業展開しているライフサイエンス・ヘルスケア分野では、引き続き安定した需要が見られましたが、原材料価格の高騰や物流費、人件費の上昇圧力は依然として高い水準にあり、また半導体、その他の電子部品、金属類の原材料等を安定的に確保することが難しい状況が見られました。

このような経営環境の中、当社グループは2024年9月30日公表の中期経営計画に基づき、一貫して販売拡大とコスト抑制を進めるとともに、コスト上昇分の販売価格への転嫁や原材料調達先の分散化などに努めました。

販売面では、当社が「PSSプラットフォーム」と称する当社製核酸抽出試薬を使用する遺伝子検査向け装置が堅調に推移したことに加え、過年度からの累計出荷台数増加・蓄積に伴い同装置で使用する核酸抽出試薬及び関連消耗品の売上が大きく伸長しました。

この結果、当連結会計年度は、売上高は5,216百万円(前期比11.2%増)、売上総利益は1,583百万円(前期比14.7%増)となりました。

販売費および一般管理費は、前期より強力に推し進めてきた事業再編と構造改革施策の効果が如実に表れ、1,382百万円(前期比8.0%減)となり、営業利益は201百万円(前期の営業損失121百万円)と4期ぶりに黒字化し、経常利益は持分法投資損益の影響を受け155百万円(前期の経常損失139百万円)となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、米国子会社清算益102百万円、黒字化に伴い将来の課税所得見込みが発生したことによる繰延税金資産146百万円の計上等、当期固有の事由により大きく好転し、394百万円(前期の親会社株主に帰属する当期純損失253百万円)となりました。

売上構成は、次のとおりであります。

(構成別売上高)

	2025年6月期 (前連結会計年度)		2026年6月期 (当連結会計年度)		対前期 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	%
装置	2,030	43.3	2,231	42.8	9.9
試薬・消耗品	1,537	32.8	2,037	39.1	32.7
サービス・その他	1,124	24.0	948	18.2	△15.9
合計	4,692	100.0	5,216	100.0	11.2

(注) 従来、売上構成区分は「ラボ(研究室)自動化装置」、「臨床診断装置」、「試薬・消耗品」、「メンテナンス関連」、「受託製造・受託検査」としていましたが、当連結会計年度より「装置」、「試薬・消耗品」、「サービス・その他」の区分に変更いたしました。現在当社は遺伝子検査向け装置とそれに使用する試薬・消耗品によるリカーリングビジネスモデルの展開に注力しており、これに伴う経営管理区分の見直しに応じた変更です。なお、前連結会計年度の情報についても容易に比較できるように、変更後の区分方法により組み替えたものを記載しております。

① 装置

当区分はライフサイエンス・ヘルスケア分野における検査・診断用装置の売上に関するものです。

当連結会計年度の売上高は2,231百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

(a) PSSプラットフォーム

当区分は、当社製核酸抽出試薬を使用する、PSSプラットフォームの装置販売に関する区分であります。

欧州大手顧客向けを中心としたODM製品及び自社ブランド製品の海外販売が堅調に推移したことにより、当連結会計年度の売上高は1,901百万円(前期比38.0%増)となりました。

(b) その他

当区分は、PSSプラットフォーム以外の装置販売に関する区分であります。

当連結会計年度は、ODM先の新製品への移行期間であることから、売上高は329百万円(前期比49.5%減)となりました。

② 試薬・消耗品

当区分は、当社装置の使用に伴い消費される核酸抽出及びPCR検査等に用いる試薬等、並びに反応容器などの専用プラスチック消耗品の販売に関する区分であります。

遺伝子検査向け装置の累計出荷台数増加により、核酸抽出試薬及び関連する消耗品の販売は堅調に推移しており、当連結会計年度は、2,037百万円(前期比32.5%増)となりました。

③ サービス・その他

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ(交換部品)販売、ODM先などへの受託開発等の区分であります。

当連結会計年度は、受託開発の売上が減少したことで、948百万円(前期比15.6%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産合計は前連結会計年度末から916百万円増加し、5,853百万円となりました。

当期は棚卸資産を削減する一方、順調な販売拡大に伴い現預金、売掛金等が増加し、流動資産は720百万円の増加となり、固定資産は、エヌピーエス株式会社の子会社から持分法適用関連会社への移行に伴う関係会社株式及び同社への貸付金の計上や、黒字化に伴い将来の課税所得見込みが発生したことによる繰延税金資産の計上等により196百万円の増加となりました。

負債合計は前連結会計年度末から586百万円増加し、1,763百万円となりました。

これは主に、事業回復に伴う短期借入金及び長期借入金等の増加によるものです。

純資産合計は、利益剰余金の積増しにより、前連結会計年度末から329百万円増加し、4,090百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ329百万円増加して1,365百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前当期純利益254百万円、減価償却費207百万円などで、資金増加が進んだ一方、販売の拡大及び前期は一時的に短縮されていた主要顧客の回収サイトが通常条件に戻り売上債権が増加した結果、営業活動によるキャッシュ・フローは51百万円の収入(前期は95百万円の収入)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

有形固定資産の取得による支出101百万円などにより、投資活動によるキャッシュ・フローは98百万円の支出(前期は8百万円の支出)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

長期借入れによる入金400百万円や短期借入金100百万円増加したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは460百万円の収入(前期は910百万円の減少)となりました。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
自己資本比率(%)	57.1	53.5	64.8	76.2	69.9
時価ベースの自己資本比率(%)	126.1	97.2	82.2	112.1	91.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	4.6	—	—	5.9	19.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	22.9	—	—	4.6	7.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

5. 2023年6月期及び2024年6月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

2027年6月期の連結業績見通しは、売上高については従来から協力関係にあるELITechGroupとの間で締結合意している5年間のOEM製品供給契約に基づく販売見通しを基盤としています。同社との契約締結合意により、当社においては受注の長期安定化及び大館試薬センターにおける試薬生産の安定化ならびに「PSSプラットフォーム」の需要増加に伴う工場稼働率向上による収益性の改善が見込まれます。

費用面については事業再生に伴い人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加する見込みではありますが、売上高5,650百万円、営業利益350百万円、経常利益298百万円と増収増益となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2026年6月期に米国子会社清算益及び黒字化に伴う繰延税金資産の計上等の特別な事由があったため、292百万円と減益となる見込みです。

	2026年6月期 (当連結会計年度)		2027年6月期 (次期の見通し)		対前期比較	
	金額①	百分比	金額②	百分比	金額②-①	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	5,216	100.0	5,650	100.0	433	8.3
営業利益	201	3.9	350	6.2	148	73.9
経常利益	155	3.0	298	5.3	142	91.3
親会社株主に帰属する当期純利益	394	7.6	292	5.2	△102	△26.0

2025年9月に発表した「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」において、2027年6月期の数値目標を「売上高5,564百万円、営業利益438百万円」としており、これを「目標とする経営指標」として掲げておりましたが、2026年6月期の連結業績ならびに現在の経営環境を踏まえ、売上高5,650百万円、営業利益350百万円としております。

当社は、2025年7月より、経営理念を以下の通り、改めて定めました。

「当社は独自の基盤技術を継続的に創出し、誰にでも使いやすく高精度な検査システムを提供することで、病気の早期発見と予防に貢献し、すべての人々が健康で自分らしく生きられる社会の実現を目指します。」

① 顧客の信頼に応え、高品質製品の安定供給義務責任を果たす。

- ・効率的な事業運営により、営業黒字及び経常黒字を早期に定着させる。
- ・当社製の装置、試薬、消耗品の品質向上とコスト低減を推進し、付加価値向上を追及する。

② 汎用性の高い自動化プラットフォームを提供し、各種検査の精度向上とユーザビリティ向上に貢献する。

- ・遺伝子検査向けプラットフォームを中心に高品質の製品とサービスを世界中に提供する。
- ・強みである検査の自動化技術を用いた製品をより多くのお客様に提供する。

③ 持続可能な経営基盤の構築と、信頼される企業文化の醸成に取り組む。

- ・ガバナンスの強化及び内部統制の再構築を推進する。
- ・法令遵守と倫理意識の徹底に加え、社内教育と情報管理体制の整備を継続的に実施する。
- ・社会、環境、ステークホルダーとの持続可能な関係を重視したESG経営を推進し、企業価値の長期的向上を図る。

この経営理念に基づき、当社が開発し製造する装置、試薬、消耗品等のPSSプラットフォームを世界中のより多くのお客様に届けられるよう、各事業を迅速に推進してまいります。

次の成長に繋げるべく、当中期経営計画（2027年6月期迄）「事業再生フェーズ」の最終年度においても、「PSSプラットフォーム」拡販による生産の安定とコスト削減施策を実行し、掲げた売上及び利益の見通しを確実に達成してまいります。

（5）継続企業の前提に関する重要事象等

当連結会計年度において、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を計上し、それを支える売上高も含めて当期以降、堅調に伸長することが見込まれること、また、資金面においては、取引金融機関との良好な関係の下、当面必要な資金は確保していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況はすでに解消したものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,036,408	1,365,967
受取手形、売掛金及び契約資産	668,299	1,129,509
商品及び製品	611,632	515,570
仕掛品	42,994	28,739
原材料及び貯蔵品	848,046	878,517
未収消費税等	68,256	56,161
その他	92,583	113,726
貸倒引当金	△1,281	△1,247
流動資産合計	3,366,940	4,086,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,972,694	1,340,347
減価償却累計額	△1,055,083	△501,489
建物及び構築物（純額）	917,611	838,858
機械装置及び運搬具	1,105,187	1,055,632
減価償却累計額	△873,670	△891,103
機械装置及び運搬具（純額）	231,517	164,529
工具、器具及び備品	1,232,392	1,248,875
減価償却累計額	△1,167,118	△1,117,755
工具、器具及び備品（純額）	65,273	131,120
土地	229,938	207,579
リース資産	6,714	—
減価償却累計額	△6,714	—
リース資産（純額）	0	—
建設仮勘定	15	—
有形固定資産合計	1,444,355	1,342,087
無形固定資産		
ソフトウェア	83,912	34,429
無形固定資産合計	83,912	34,429
投資その他の資産		
投資有価証券	34,017	34,017
関係会社株式	—	105,090
関係会社長期貸付金	—	100,000
繰延税金資産	—	146,635
その他	8,350	4,505
投資その他の資産合計	42,368	390,249
固定資産合計	1,570,636	1,766,767
資産合計	4,937,576	5,853,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	348,560	384,030
短期借入金	500,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	34,204	126,672
未払法人税等	10,118	6,064
賞与引当金	54,741	82,391
製品保証引当金	9,573	—
事業構造改善引当金	3,257	—
受託開発損失引当金	—	10,038
返金負債	—	5,467
その他	185,923	250,659
流動負債合計	1,146,379	1,465,323
固定負債		
長期借入金	30,006	298,333
繰延税金負債	404	—
固定負債合計	30,410	298,333
負債合計	1,176,789	1,763,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,697,906	3,346,495
利益剰余金	△1,967,176	706,188
自己株式	△123,794	△53,603
株主資本合計	3,706,935	4,099,079
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	53,851	△9,024
その他の包括利益累計額合計	53,851	△9,024
純資産合計	3,760,786	4,090,055
負債純資産合計	4,937,576	5,853,712

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,692,629	5,216,912
売上原価	3,311,544	3,633,005
売上総利益	1,381,084	1,583,906
販売費及び一般管理費	1,502,579	1,382,598
営業利益又は営業損失(△)	△121,495	201,307
営業外収益		
受取利息	2,813	5,508
仕入割引	2	—
為替差益	—	10
補助金収入	—	1,260
その他	9,913	6,379
営業外収益合計	12,730	13,158
営業外費用		
支払利息	20,541	16,789
為替差損	3,177	—
支払手数料	1,000	—
持分法による投資損失	5,449	41,837
その他	406	3
営業外費用合計	30,574	58,630
経常利益又は経常損失(△)	△139,339	155,836
特別利益		
固定資産売却益	0	2,999
関係会社株式売却益	8,987	—
子会社清算益	—	102,637
その他	441	—
特別利益合計	9,429	105,637
特別損失		
固定資産売却損	1,031	274
固定資産除却損	4,139	3,113
事業構造改善費用	59,489	1,409
損害賠償金	54,012	—
持分変動損失	—	2,237
その他	0	—
特別損失合計	118,673	7,035
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△248,583	254,438
法人税、住民税及び事業税	6,495	6,605
法人税等調整額	△1,981	△147,040
法人税等合計	4,514	△140,435
当期純利益又は当期純損失(△)	△253,097	394,873
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△253,097	394,873

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△253,097	394,873
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△28,508	△62,875
その他の包括利益合計	△28,508	△62,875
包括利益	△281,606	331,998
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△281,606	331,998

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	100,000	5,697,906	△1,714,079	△23,337	4,060,490	82,360	82,360	4,142,850
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益			△253,097		△253,097			△253,097
連結範囲の変動					—			—
自己株式の取得				△100,457	△100,457			△100,457
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△28,508	△28,508	△28,508
当期変動額合計	—	—	△253,097	△100,457	△353,554	△28,508	△28,508	△382,063
当期末残高	100,000	5,697,906	△1,967,176	△123,794	3,706,935	53,851	53,851	3,760,786

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	100,000	5,697,906	△1,967,176	△123,794	3,706,935	53,851	53,851	3,760,786
当期変動額								
欠損填補		△2,421,057	2,421,057		—			—
親会社株主に帰属する当期純利益			394,873		394,873			394,873
連結範囲の変動		127,210	△142,566		△15,356			△15,356
連結範囲の変動に伴う為替換算調整勘定の増減					—	△103,008	△103,008	△103,008
自己株式の取得				△9	△9			△9
譲渡制限付株式報酬		△57,564		70,200	12,636			12,636
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						40,133	40,133	40,133
当期変動額合計	—	△2,351,411	2,673,364	70,190	392,144	△62,875	△62,875	329,268
当期末残高	100,000	3,346,495	706,188	△53,603	4,099,079	△9,024	△9,024	4,090,055

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△248,583	254,438
減価償却費	238,106	207,739
引当金の増減額(△は減少)	11,237	35,768
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△204,499	△3,257
受取利息	△2,813	△5,508
仕入割引	△2	—
持分法による投資損益(△は益)	5,449	41,837
支払利息	20,541	16,789
為替差損益(△は益)	31,581	△26,482
支払手数料	1,000	—
固定資産売却損益(△は益)	1,031	△2,725
固定資産除却損	4,139	3,113
関係会社株式売却益	△8,987	—
子会社清算益	—	△102,637
損害賠償金	54,012	—
事業構造改善費用	59,489	1,409
売上債権の増減額(△は増加)	△28,587	△515,274
棚卸資産の増減額(△は増加)	192,244	△9,884
仕入債務の増減額(△は減少)	17,356	68,487
その他	155,838	101,286
小計	298,554	65,098
利息の受取額	2,813	5,508
仕入割引の受取額	2	—
利息の支払額	△20,680	△7,082
法人税等の支払額	△8,493	△10,704
事業構造改善費用の支払額	△122,355	△1,409
損害賠償金の支払額	△54,012	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,828	51,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	—
定期預金の払戻による収入	40,000	—
有形固定資産の取得による支出	△52,588	△101,978
有形固定資産の売却による収入	—	3,000
無形固定資産の取得による支出	△497	△600
敷金及び保証金の回収による収入	234	201
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	3,058	—
関係会社の清算による収入	15,704	—
その他	5,841	1,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,245	△98,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△300,000	100,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△502,423	△39,205
リース債務の返済による支出	△7,944	—
自己株式の取得による支出	△100,457	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△910,824	460,785
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,570	31,928
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△858,812	446,098
現金及び現金同等物の期首残高	1,895,220	1,036,408
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△116,539
現金及び現金同等物の期末残高	1,036,408	1,365,967

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(欠損補填)

当社は、2025年9月26日開催の定時株主総会において、その他資本剰余金の処分について決議し、2025年9月29日にその効力が発生いたしました。これにより、その他資本剰余金のうち、2,421,057千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填を実施しております。

なお、株主資本の合計金額に著しい変動はありません。

(自己株式の取得及び処分)

当社は、2025年9月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式270,000株の処分を行いました。

その結果、当連結会計年度において自己株式が70,200千円減少し、当連結会計年度末において自己株式が53,603千円となっております。

(連結範囲及び持分法適用の重要な変更に関する注記)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当社の連結子会社であったエヌピーエス株式会社は、2025年9月30日の第三者割当増資により当社持分比率が減少したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しました。

損益計算書については、2025年7月1日から2025年9月30日までの3ヵ月間を連結の範囲としております。

また、当社の連結子会社であったPrecision System Science USA, Inc. (旧PSS Bio Instruments, Inc.)は、2026年3月31日付で清算終了したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。なお、清算終了までの損益計算書については、連結しております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

エヌピーエス株式会社は、第三者割当増資により当社の持分比率が減少したため、当連結会計年度において2025年10月1日より連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

当社グループは、ライフサイエンス・ヘルスケア分野における検査・診断用製品の開発及び製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。また、当連結会計年度より従来の「自動化システムインテグレーションサービス事業」から「ライフサイエンス・ヘルスケア分野における検査・診断用製品の開発及び製造・販売事業」に名称を変更しております。当該変更は名称変更のみであり、その内容に与える影響はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)		当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)	
1株当たり純資産額	138.31円	1株当たり純資産額	148.94円
1株当たり当期純損失(△)	△9.21円	1株当たり当期純利益	14.42円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△253,097	394,873
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△253,097	394,873
普通株式の期中平均株式数(株)	27,491,345	27,375,699

(重要な後発事象)

該当事項はありません。